

共通取扱説明書



このたびは弊社製品のドライブレコーダーをご購入いただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、大切に保管して下さい。


⚠ 注意事項（よくお読みください）

- ※当製品には別売の microSD カード（4～32GB）が必要です。SD スピードクラス「Class10」以上の物をご用意ください。microSD カードの書き込み速度が遅いとサイクル録画ができない場合があります。
- ※吸盤で本製品を固定する前に、設置面と吸盤の埃や汚れを取り除いてください。埃や汚れが少しでも残っていると走行中の振動などで外れ、本製品の破損やケガ、事故の原因となる場合があります。
- ※運転中に本製品の視聴・操作を行わないでください。
- ※エアバッグや運転等の安全上の妨げにならない場所に取り付けてご使用ください。
- ※本製品を車の空調吹き出し口などの温度・湿度が特に高い場所、直射日光が当たる場所に放置しないでください。特に夏の社内は非常に高温になる場合がありますのでご注意ください。内蔵の充電電池の液漏れ・発熱・破裂・感電・故障の原因になります。また、本体の変形や故障の原因にもなります。
- ※出荷時は充電されておりません。充電が少ない時は電源を切った状態で十分に充電してからお使いください。充電量が不足しているとフリーズする場合があります。
- ※品質向上の為予告なく仕様変更される場合があります。その場合、当取扱説明書と一部内容が異なる場合がございますので、予めご了承ください。
- ※事故発生時はドライブレコーダーの電源を OFF にして microSD カードを本体から抜き、保管してください。
- ※本体の電源が ON の状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カードの故障の原因となります。電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに記載されている注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防ぐ為のものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** 死亡または重症を負う恐れがある内容です。

 **注意** 軽症を負うことや物的損害が発生する恐れがある内容です。

◆安全上お守りいただきたいこと

警告

- 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ているなど、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、直ちに使用を中止してください。
- 万一破損した場合は、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- 穴や隙間にピンや針金などの金属を入れしないでください。感電や故障の原因となります。
- 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本製品を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れしないでください。また、本製品を過熱しないでください。
- microSD カードおよび同梱品はお子様の手が届かない場所に保管して下さい。誤飲の恐れがあります。
- 本製品を以下のような場所に保管しないでください。変色・変形・故障の原因となります。
 - ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い場所
 - ・湿気やほこり、油煙の多い場所
 - ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

注意

- 低温の場所から高温の場所へ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障の原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
- 本製品の外装を清掃する場合は、水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
- 揮発性の薬品（ベンジンやシンナー等）を使用して本製品を拭かないでください。表面が傷む恐れがあります。
- 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- 本製品を落としたり、強いショックを与えないでください。破損・故障の原因となります。
- 各端子に異物が混入すると、故障の原因となりますので、取扱いにご注意ください。
- 本製品は精密機械です。静電気 / 電氣的ノイズでプログラムデータが消失することがあります。万一プログラムデータが消えた場合は作動しません。

◆取り付けについて

警告

- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは交通事故の原因となります。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないようにしてください。
万一の時動作したエアバッグで本製品が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことも考えられます。

注意

- 吸盤で本製品を固定する前に、設置面と吸盤の埃や汚れを取り除いてください。
埃や汚れが少しでも残っていると走行中の振動などで外れ、本製品の破損やケガ、交通事故の原因となる場合があります。

◆お手入れについて

⚠ 注意

- カメラのレンズが汚れている場合は、柔らかい布などに水を含ませて優しく吹いてください。乾いた布などで拭くと、キズの原因となります。

使用上のご注意

- 本製品を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転を心がけてください。
- 本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。
- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造などによって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用方法やその他の順守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の仕様、および外観、アイコン、表示名、表示内容は事実と異なったり、品質向上の為予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによる車両の変色・変形（取付跡が残る）に関し、弊社では補償いたしかねます。

◆録画についての注意

- 本製品は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本製品の故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- LED 式信号機は点滅状態で撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それによって発生した損害について弊社は一切の責任を負いません。
- 録画条件によって録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中に本製品を注視したり操作しないでください。操作は停止中に行ってください。
- 事故発生時は録画ファイル保全の為、必ず microSD カードを本製品から抜いて保管して下さい。
- 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のような場合はデータが破損する恐れがあります。
 - ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合
 - ・水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合
 - ・長期間使用しなかった場合

◆シガー電源ケーブルに関する注意

- シガー電源ケーブルは、必ず同梱されたものをご使用ください。

◆液晶モニター部に関する注意

- モニター部を強く押したり爪やボールペンなど尖ったもので操作しないでください。モニター部破損の原因となります。
- モニターを金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。モニター部破損の原因となります。



①電源ランプ

電源が ON になると青いランプが点灯します

②UP ボタン

設定メニューで使用します。
動画モード時に押すと、音声の ON/OFF を切替えます

③メニューボタン

1 回押すと各モードの設定メニューを表示します。
2 回押すと共通設定メニューを表示します。

④DOWN ボタン

設定メニューで使用します。

⑤USB 端子

シガー電源ケーブルや USB ケーブルを接続します。

⑥スタンド取付口

吸盤付きスタンドを取り付けます。

⑦HDMI 出力端子

HDMI ケーブルを接続し対応している TV やモニターで動画や静止画を確認することができます。

⑧電源ボタン

長押しで電源を ON/OFF できます。
軽く押すとレンズ上下の LED ランプが点灯します。

⑨SD カードスロット

microSD カード (4 ~ 32GB/Class10 以上 / 別売) を挿入してください。

⑩ロックボタン

撮影中の動画ファイルをロックし、誤って削除されるのを防ぎます。

⑪モードボタン

押すたびに、動画モード→静止画モード→再生モードの順で切り替えます。

⑫OK ボタン

設定時に使用します。
動画モード、静止画モード時に押すと撮影開始します。

⑬充電ランプ

充電中 (ケーブル接続時) に赤いランプが点灯します。

microSD カードの取り外し / 装着

本製品は 4GB ~ 32GB の microSD/microSDHC カード（別売）に対応しています。

SD スピードクラス「Class10」以上のものをご用意下さい。

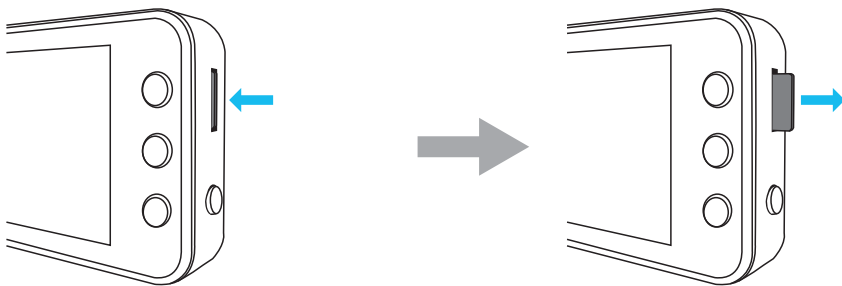
それ以下の「書き込み速度が遅い」microSD カードの場合、サイクル録画ができない場合があります。

1. microSD カードをドライブレコーダーから取り外す

1-1 電源を OFF にする

電源 OFF は、①自動車のエンジンを切るか、②ドライブレコーダー本体の電源ボタンを長押しします。電源 OFF 後は、電源ランプの消灯を確認してください。

1-2 microSD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



装着された microSD カードを押し込みます。

本体から飛び出しますので引き抜いてください。microSD カードの紛失にご注意ください。

2. microSD カードをドライブレコーダーに装着する

2-1 電源を OFF にする

電源 OFF は、①自動車のエンジンを切るか、②ドライブレコーダー本体の電源ボタンを長押しします。電源 OFF 後は、電源ランプの消灯を確認してください。

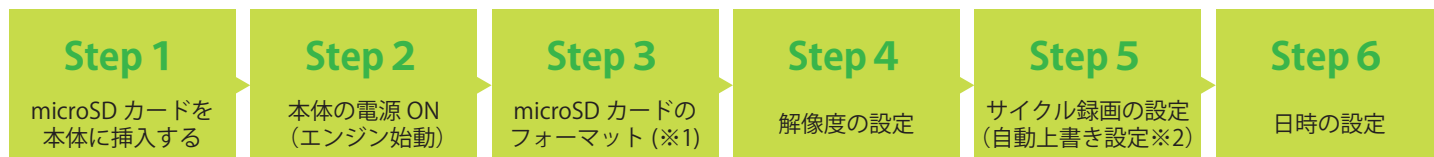
2-2 microSD カードを挿入する



SD カード挿入口に「カチッ」と音がするまで microSD カードを押し込みます。挿入する際は、microSD カードの向きにご注意ください。

電源 ON ~ OFF までの流れ

ご購入後、初期設定（日時・解像度など）を行ってください。



※1: 本製品ではじめてお使いになる microSD カードは必ずフォーマットしてください。

フォーマットしない場合、録画がうまくできない、録画可能時間が減少するなどの原因になります。

※2: サイクル録画（設定メニュー名は「自動上書き設定」）の設定を行うことで microSD カードの容量がいっぱいになっても、古いデータを自動的に削除し新たに動画データが生成・保存され続けます。

動画データをロックした場合は削除されず microSD カードに残り続けます。

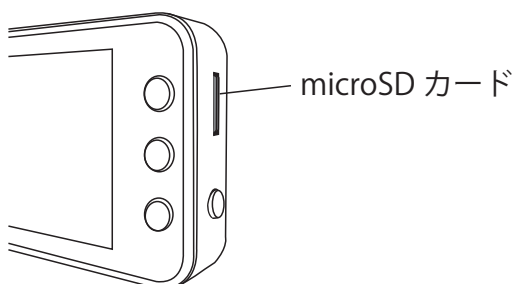
ロックされた動画データが溜まると、録画できなくなりますのでご注意ください。

1. 電源 ON（録画を開始する）

本製品は自動車のエンジン始動と連動して録画を開始します。

1-1 microSD カードが挿入されていることを確認する

電源 OFF は、①自動車のエンジンを切るか、②ドライブレコーダー本体の電源ボタンを長押しします。電源 OFF 後は、電源ランプの消灯を確認してください。



microSD カードが挿入されていない時は電源が OFF であることを確認して、カードの向きに注意しながら挿入してください。

1-2 自動車のエンジンを始動する

充電ランプ（赤）と電源ランプ（青）が点灯し、ドライブレコーダーが起動します。起動後自動的に録画を開始します。録画中はモニター左上に●が点滅し、右上に録画時間が表示されます。



◆エンジン始動時の自動録画を OFF にする方法

動画設定メニューの「動体検知」の設定を ON にするとエンジン始動時の自動録画は開始されません。

（その代わりに動体を感知すると自動的に録画を開始します）

2. 録画を停止する

2-1 録画を停止したい場合は OK ボタンを押す

録画中は設定メニューを操作できません。

各種設定を行いたい場合は録画を一時的に停止する必要があります。

動体検知を ON にしている場合は、停止後も動体を感知すると自動的に録画を開始しますが、動体検知を OFF にしている場合は、再度 OK ボタンを押さないと録画は自動的に開始されませんのでご注意ください。

3. 日時を合わせる

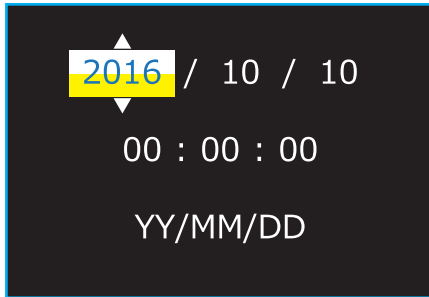
時刻はズれることがあります。定期的に日時設定の確認をお勧めします。

3-1 共通設定メニューの「日付 / 時刻」を選択し OK ボタンを押す

モニター左側・真ん中のメニューボタンを2回押し、共通設定画面を表示します。
▲か▼を押し、日付 / 時刻を選択し、OK ボタンを押してください。

3-2 年月日と時分秒を設定する

モニター左側・真ん中のメニューボタンを2回押し、共通設定画面を表示します。
▲か▼を押し、日付 / 時刻を選択し、OK ボタンを押してください。



左の図の場合、西暦が選択されています。

▲と▼で増減します。

OK ボタンを押すと次の項目に移動します。

一番下の「YY/MM/DD」は動画データに表示する日付の表示方法を変更できます。

Yは西暦、Mは月、Dは日を意味します。

ここでの設定は動画データのみには反映されるため、モニター上ではYY/NN/DD形式での表示となります。

3-3 メニューボタンか M ボタンを押し、設定を終了する

4. 録画を再開する

録画を再開するとモニター左上に●が点滅し、右上に録画時間が表示されます。

4-1 録画を再開する場合は OK ボタンを押す

動体検知の設定が ON の場合は動体を感知すると同時に録画を自動で開始します。

5. 動画ファイルをロックする

録画ファイルをロックすると、サイクル録画時の自動削除されなくなります。

5-1 録画中ロックボタンを押す

ロックボタンを押すと●の右隣に鍵アイコンが表示されます。

ロックされた動画ファイルはフォーマットするか、再生モードでロックを解除しない限り削除されません。(あくまでも本製品上でのロックです。PCなどに接続した場合削除可能です。)

※サイクル録画中、次のデータはロックされません。再度ロックボタンを押す必要があります。

5-2 G センサー感知で自動ロック

商品コード：DRAN の機種は G センサー付きです。

G センサーの設定 (2G/4G/8G) を行っている場合、衝突や急ブレーキなどで設定した重力を感知することで、撮影中の動画ファイルは自動的にロックされます。

6. 電源 OFF (録画を停止する)

6-1 自動車のエンジンを切る

本製品はエンジンを停止すると自動的に録画を終了し、本体の電源も OFF になります。

各種設定

メニューボタン 1 回押しで各モードの設定メニュー、2 回押しで共通設定メニューが表示されます。
▲ボタン、▼ボタン、OK ボタンで各項目を設定し、メニューボタンか M ボタンを押すと設定を終了します。

動画モード

OK ボタンで録画停止 / 録画開始します。

メニュー名称	説明
解像度	動画の解像度を設定します。
自動上書き設定	サイクル録画の設定です。 1分/2分/3分/5分/10分はそれぞれ1つの動画ファイルの録画時間になります。 microSDカードの容量がいっぱいになったら、古いファイルを自動削除し、新たに録画します。自動削除されない「ロックされた動画ファイル」が溜まると録画できなくなりますのでご注意ください。
露出補正	露出補正の値を設定します。
動体検知	ONに設定すると、動体を検知したら自動的に録画を開始するようになります。
オーディオの録音	録画時、消音にすることが出来ます。▲ボタンでもON/OFFできます。
日付表示	録画データの日付/時刻の表示・非表示を設定します。
Gセンサー	商品コード：DRANのみの機能です。 設定した重力を検知することで、撮影中の動画ファイルを自動的にロックします。

静止画モード

OK ボタンで静止画を撮影します。

メニュー名称	説明
解像度	静止画の解像度を設定します。
連写設定	連写機能をONにすると、1回OKボタンを押すだけで5連写撮影します。
画質設定	画質をファイン/ノーマル/エコノミーから選択します。
シャープネス	画像のエッジの部分、輪郭の部分を強調するかどうかを設定します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスの設定を行います。
ISO	ISO感度を設定します。
露出補正	露出補正の値を設定します。
手ブレ補正	手ブレ補正機能のON/OFFを設定します。
クイックレビュー	撮影後のレビュー時間を設定します。
日付表示	録画データの日付/時刻の表示・非表示を設定します。

再生モード

撮影した動画ファイル、静止画ファイルを閲覧できます。

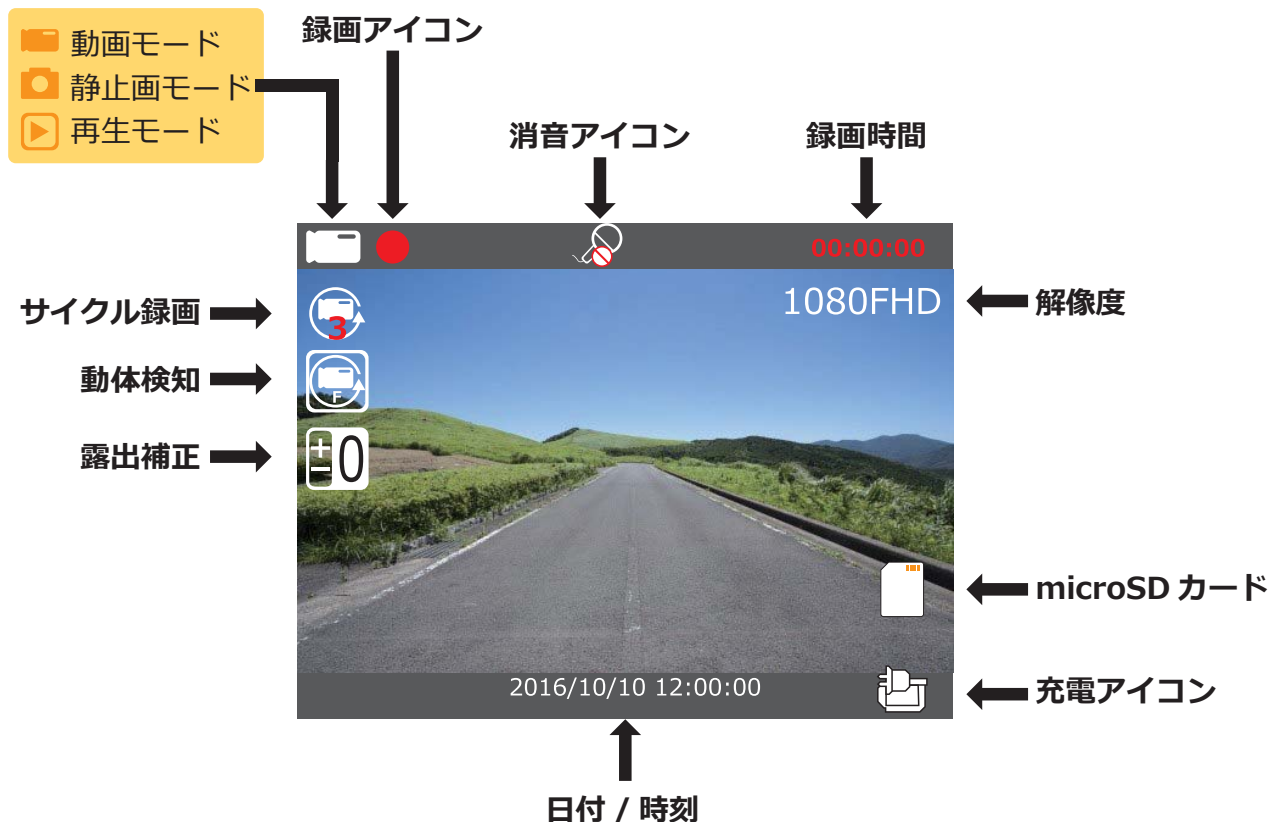
メニュー名称	
削除	保存されているファイルを削除します。
保護	保存されているファイルを保護（ロック）したり、解除したりできます。

共通設定メニュー

メニュー名称	説明
日付/時刻	日付/時刻/表示形式を設定します。定期的に設定してください。
オートシャットダウン	一定時間操作しない場合、自動的に電源OFFになる時間を設定します。
スクリーンセーバー	一定時間操作しない場合、自動的にモニターを非表示（真っ暗）にします。
操作音	操作時にボタンを押した際の音のON/OFFを設定します。
言語設定	日本語、英語、中国語など、表示言語を設定します。
周波数	周波数を設定します。東日本は50HZ、西日本は60Hzです。
フォーマット	挿入しているmicroSDカードをフォーマット（初期化）します。全データが消去されますので、ご注意ください。
設定の初期化	手ブレ補正機能のON/OFFを設定します。
バージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。

表示の説明

設定によって表示されるアイコンが変わります。アイコンによって、現在の設定を確認することが出来ます。



トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、まずご確認ください。

電源が入らない

- ・電源ケーブルは挿さっていますか？接続状況をご確認ください。
- ・シガー電源ケーブルのランプは点灯していますか？シガーソケットに正しく挿していても赤いランプが点灯していない場合は、シガー電源ケーブルが故障している可能性があります。

映像が記録できない / サイクル録画ができない

- ・ microSD カードは正しく挿入されていますか？
- ・ 保護（ロック）したファイルで microSD カードがいっぱいになっていませんか？
- ・ microSD カードの書き込み速度クラスは Class10 以上ですか？
- ・ 他の microSD カードに交換してみてください。

日本語以外の言語で表示されている

- ・ 共通設定の言語設定で日本語に替えてください

動画に音声記録されていない

- ・ 消音設定で録画していませんか？
▲ ボタンで ON/OFF 切替します。モニター上のアイコンをご確認ください。

モニター面もしくはレンズ面に細かい傷がある

- ・ 本製品には保護フィルムが貼ってあります。
細かい傷は保護フィルムについていますので、気になる場合は剥がしてご使用ください。

フリーズするときがある

- ・ 充電量が不足している場合、フリーズすることがあります。しっかりと充電してみてください。
- ・ microSD カードの書き込み速度が遅いと保存時にフリーズする可能性があります。
Class10 以上の microSD カードに替えてみてください。

バッテリーを交換したい

- ・ 本製品のバッテリーは組み込まれており交換することはできません。

電源が入らない

- ・電源ケーブルは挿さっていますか？接続状況をご確認ください。
- ・シガー電源ケーブルのランプは点灯していますか？シガーソケットに正しく挿していても赤いランプが点灯していない場合は、シガー電源ケーブルが故障している可能性があります。

リセットボタンについて

フリーズしたり、誤作動を起こした場合は、リセットボタン（USB 差込口の反対側）を押して再起動してください。（※リセットしても microSD カード内のデータは消去されませんのでご安心ください）

製品仕様

カラー	ブラック
液晶サイズ	約 2.4 インチ
レンズ	広角 120°
対応言語	日本語、中国語、英語 など
ファイル形式	動画：AVI 静止画：JPG
ビデオ解像度	最大 1080P 1920×1080 ～
ファイル保存時間	1 / 3 / 5 / 10 分
静止画モード	4032×3024 ～
機能	動体検知機能・保護（ロック）機能・G センサー（DRAN のみ）
ライト	補助ライト 2 個（可視光ではありません）
マイク	好感度マイクロフォン内蔵
対応メディア	microSD / microSDHC カード（4～32GB） ※Class10 以上推奨
TV 出力	HDMI 出力（HDMI ケーブルは別売です）
電流周波数	50Hz / 60Hz
PC 接続インターフェース	ミニ USB（USB ケーブル付属）
サイズ	約 90×52×15mm（レンズを含めると 26mm）、レンズ部 23mm
重量	約 55g
製品内容	本体、USB ケーブル、シガー電源ケーブル、スタンド、取扱説明書

最新の取扱説明書は下記 URL でダウンロードできます。

<http://www.weimall.jp/pic/manual/pdf/dra.pdf>

